

## 私の当院におけるNo.1

当院の看護師の誇れるところは、地域に根ざした、あたたかみのある看護だと思います。そして、何よりも看護師のチーム力がNo.1といえるのではないのでしょうか。看護職員みんながNo.1であり続けたいと思います。

## 看護部のいま現在と今後の展望について

### ◆看護部のご紹介

【病院運営における看護部門の役割】県民の信頼に応えられる質の高い看護の提供

☆高度急性期医療における看護      ☆がん診療に関する看護      ☆看護教育(各種実習・研修の受け入れ・講師派遣)



希望の木



看護の日(総合受付の様子)

### ◆県立総合病院看護部の強み

専門性の高い看護を提供できる看護師が揃っていることです。

☆専門看護師(感染症看護, 慢性疾患看護, 家族看護, 老人看護, 精神看護: 5分野5名)

☆認定看護師(感染管理, 集中ケア, がん化学療法看護, がん放射線療法看護, 緩和ケア, 皮膚・排泄ケア, 慢性呼吸器疾患看護, 糖尿病看護, 認知症看護: 9分野15名)

☆特定行為研修修了者(感染症管理, 創傷管理: 2領域3名)

今年度、認定看護師資格試験を受験する予定者が2名います。そして、現在履修中の看護師は、専門看護師コースが2分野2名、特定行為を行える認定看護師コースが1名、特定行為研修生が1名です。これらより、学習し続ける組織といえます。また、病棟のジェネラリスト(※1)の活躍も強みのひとつです。患者さんに安心して入院生活を送っていただけるよう、多職種と連携したサービスが提供できる高いチーム力を持っています。そして、外来看護師による円滑な地域との連携です。これらをさらに強化していきたいと考えます。

(※1)…特定の分野にとらわれず、経験と継続教育によって暗黙知に基づき、その場に応じた知識・技術・能力が発揮できる看護師。

### ◆看護部長として思うこと

看護師を育てていく上で重要なことは、人への関心、教育愛、気遣いであると思います。私はこれまで数多くの看護師の成長をみてきました。相手の立場に立って考えられる人、気遣いのできる人、先読みのできる人が将来的に誰からも信頼される看護師になっています。

患者さんやそのご家族が身体の不調で病院と関わらなければならないということは、非日常的な状況であると思います。気持ちもすぐれず、平常心が保てない状況にある方も多くいらっしゃいます。

その時に最も身近にいる存在が看護師です。看護師の接し方、言葉ひとつで救われる場合もありますし、また、逆に不快な思いを感じさせてしまう場合もあります。そのような、大切なシーンにいつも直面していることを私たち看護師は、決して忘れてはならないと思っています。医療が高度化し、それに伴い、看護師に求められるものも多岐にわたり、期待もこれまで以上に高まってきています。県民の皆様にとって、信頼される病院であり続けるために、高い倫理観をもち、専門性の高い看護師の育成に尽力します。私たちは、常に向上心をもって成長し続けたいと考えております。

## 看護師じゃない私の素顔

若いころは、北海道が大好きでスキーに明け暮っていました。かつてはスキーの指導員を目指していましたが断念。SAJ1級どまりです。今では沖縄にはまり、沖縄の三線の音色に魅了され、三線を奏するのが趣味となりました(写真は太鼓ですが…)。時々開催される発表会に出演しています。その他の趣味は、食パンづくりです。いろいろ試行錯誤しながら、オリジナルレシピに辿り着きました。自分で言うのもなんですが、最高に美味です。毎朝それを食しています。もう一つの趣味は沖縄出身の大好きなアーティストのコンサートに行くことです。なかでも宜保和也(ぎぼかずや)



北街道でのスキー



沖縄にはまっています

さんと3人組のきいやま商店のコンサートは、行くたびにリフレッシュできます。写真は、市販のものを真似て作ったハブとマンガースとヤシガニです。時々きいやま商店のコンサートに持参し、一緒に踊ってエネルギーチャージしています。



手製のハブとマンガースとヤシガニ

## 地域の関係機関の方や、患者さんへ一言

私たち看護師は、「心をつくした癒しの看護」を理念に掲げ、患者さんやご家族に寄り添う看護を目指しています。専門職としての確かな知識、技術と倫理観、そして何よりも人を思いやる心を持ち、患者さんが持っていらっしゃる力を最大限に引き出し、その人らしい生き方を一緒に考えていきます。また、地域の病院、施設や訪問看護師の方々との連携を密にし、在宅、外来および入院で治療を受ける患者さんをチームで支え、患者さんとともに歩み続けることを目指します。

毎年、職員満足度調査を実施し、患者さんおよび職員の環境を整え、県民の皆さまからの信頼に応えられる質の高い看護の提供に努めてまいります。

# 最新鋭のMRI 装置に入れ替えました！

～よりやさしく・質の高い検査を目指して～



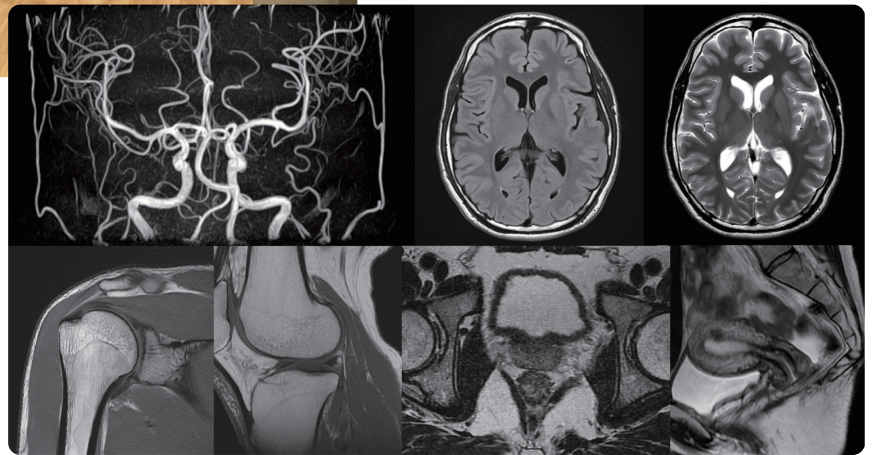
AI 技術を搭載した最新MRI

この度、当院では2台あるMRIのうち1台(1.5T)を最新の装置に入れ替えました。

MRIは、磁場と電波を用いて、全身を画像化する装置です。レントゲンやCTのように放射線を一切使っていないため、被ばくがない検査ですが、従来のMRIでは、検査中に大きな騒音が発生する、長時間仰向けになる、高画質な画像を求めると検査時間が延長するといったデメリットがあります。そこで当院は今回、こういったデメリットを少しでも軽減できるような装置を導入しました。

## ■患者さんにやさしい装置設計

今回導入した最新MRIは、騒音発生源であるコイルを密閉封入することで、すべての検査音を低減し、検査中の大きな騒音による患者さんの不安やストレスを軽減できるようになりました。また、頭頸部に傾斜をつけて検査を行うこともできるようになり、脊椎が変形した方など様々な体形に合わせて楽な姿勢で検査を受けていただくことができます。



当院で撮像したAI技術を用いた画像

## ■人工知能(AI)技術を用いた短時間・高画質の両立

一般的なMRIは、他の画像診断装置と比べて検査時間が非常に長いという問題があります。検査時間を短くすると画像が劣化して診断が難しくなり、反対に診断に有用な高画質な画像を求めると検査時間が延長します。したがって、従来の検査では短時間・高画質を両立することは困難でした。しかし、最新MRIでは、AIによる高画質化技術を搭載し、検査時間を延長することなく、高画質な画像が得られるようになりました。

昨今、AIは私たちの日常生活に必要な技術として用いられるだけでなく、医療分野においても応用されるようになってきました。当院は滋賀県内でもいち早くこのAI技術を搭載した最新MRIを導入し、今後も患者さんにさらなる「安心」と「質の高い医療」の提供を心がけていきたいと考えています。

## 滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4番30号  
電話077-582-5031(代表)

滋賀県立総合病院ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



※本誌へのご意見やご感想等をぜひお寄せください。

FACEしがネット受付サービス

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/8124789265493085857>



## 〈院内紹介動画を配信中!〉

ふだんは入ることができない手術室の様子などを動画で紹介しています。ぜひご覧ください。



当院ホームページURL

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/322221.html>

